

区政のこうをさぐ

一般質問 質問 旨

魅力ある汐入地域に向けての提言と南千住生まれの画家、小松崎茂生誕100年の企画展開催を



鳥飼 秀夫 (自民党)

魅力ある汐入地域に向けての提言
汐入地域は、都立汐入公園多目的広場からの砂ぼこりで、建物の窓を開けることもできず、目も開けられない状況である。区は都に改善策を要求してほしい。さらに以前から指摘している汐入小学校の校庭に加え、汐入こども園の園庭の砂ぼこりについて、改善策を検討してほしい。

汐入公園の砂ぼこりは、都に改善の要望をされており、7月に安定剤の散布や転圧などの整備工事を行うと聞いている。改めて抜本的な対策を強く要望する。汐入小、汐入こども園の散水は、1日3回及び強風時に実施している。今後、汐入小は芝の改良とスプリンクラー増設を、汐入こども園は園庭の改修を視野に、改善策を検討する。

隅田川の水辺空間を活用した汐入公園は、区の重要な観光資源の一つで、都に対し、公園の空間活用を要望していくべきである。また、汐入タワーからは360度見渡せて、地上とは違う印象で面

白い。東京藝術大学の学生によるイベント「隅田川夕日見」も大いに盛り上がった。これらの資源を活用した観光振興を推進すべき。

汐入地域では、川の手荒川まつりや各種イベントの開催とともに、市内のプロジェクトチームで水辺を生かしたにぎわい創出を検討している。都も同様の取り組み「隅田川ルネサンス」を推進しており、区はこの取り組みにも積極的に参加していきたい。解体予定であった汐入タワーの存続や「隅田川夕日見」の今年の開催も決まり、今後隅田川の水辺空間を生かした観光振興を進めていく。

汐入図書館サービスステーションは汐入地域の知の拠点となりつつあると感じているが、利用の実態は予約の本の受け渡しが多く、利用者からは「もともと本があれば」との声も聞かせる。現在閉まっている隣の店舗を借り受け、図書サービスステーションを拡充し、より充実した図書館サービスを地域に届けてほしいと思うがど

うか。

汐入図書館サービスステーションの利用形態は、予約した方が受け取ることが中心になっている。利用者からは本を見ながら選んで借りたい、蔵書を増やしてほしい等の要望があり、隣の空き店舗を活用できるように調整を進めている。

南千住生まれの画家、小松崎茂生誕100年の企画展開催を

南千住生まれの画家、小松崎茂氏は少年雑誌の口絵・挿絵やプラモデルの箱絵などで著名である。少年時代は南千住周辺を遊び場とし、ここを舞台とした挿絵や風景画を描いている。南千住の街をよくなく愛した氏が、平成27年に生誕100年を迎えるに当たり、企画展開催を強く要望する。

小松崎茂氏の企画展については、荒川ふるさと文化館にて平成17年に開催し、大きな反響を呼んだ。教育委員会は現在も氏のコレクションの所有者やご遺族と交流を続けており、生誕100年を迎える平成27年に再度企画展を開催することを検討している。氏の輝かしい功績を紹介することにより、荒川区の文化を広く内外にPRできるような企画とした。

その他の質問項目

震災対策について

待機児解消策について



区民目線に立った行政経営のための公会計制度改革の実現と公共施設の老朽化を問う



中村 尚郎 (公明党)

区民目線に立った行政経営のための公会計制度改革の実現を

現在の区の単式簿記・現金主義会計では、単年度ごとの近視眼的な財政運営だと言わざるを得ない。効率的で長期的視野に立った行政経営を行うため、複式簿記・発生主義会計は必須であり、導入してほしい。

公会計改革では、区民ニーズに対応して施策の質の向上を進めていく上で、資産や固定費等を明確かつ網羅的に把握できる「発生主義・複式簿記」の導入が重要であり、積極的に検討していく。

民間の会計事務所が「新地方公会計制度」導入支援サービスを提供している。会計事務所に委託し、専門家が関与することで、低コストで効率よく改革が進められる。財務諸表を専門の立場から監査し、他自治体と比較検証もできる。アウトソーシングを活用した新公会計制度の導入について問う。

「発生主義・複式簿記」の考案方に基づく管理会計の要素を行

政評価に導入していくことが、区民への説明責任を果たしていく上で有効と考えている。提案の専門家へのアウトソーシングも含め、積極的に検討していく。

公共施設の老朽化を問う

公共施設の維持管理コストは、この先大幅な削減は見込めない。今後、区民との合意形成を図る視点から建て替えるのか、改修するのか、他施設と組み合わせるのか、廃止するのかなどの方針を明確にした公共施設のあり方を検討するべきと考えるがどうか。

区の今後の人口推計から考えると一定量の公共施設を維持していくことが必要だ。施設の現況や財政面の見通しを区民に分かりやすく説明し、合意を得た上で、必要な改修を行い、将来にわたる質の高いサービスを提供していく。

新しい基準や将来のニーズを見据えて、公共施設を更新していくには、公共施設全体をマネジメントすることが必要である。施設の総量の削減、複合化・多機能化、

新規整備の抑制の3つの考え方に基づき「公共施設マネジメント基本方針」を策定してはどうか。

今後は公共施設の長寿命化とともに、転用や廃止、複合化・多機能化等にも積極的に取り組む必要がある。今後とも公共施設の適切な維持管理や改修、必要な整備を着実に進めるべく、基本方針の取りまとめを検討する。

公共施設の統廃合等による跡地の売却等の収入を、基金として積み立て、他の施設の更新費用として財政計画に組み込んではどうか。また、各施設の規模や維持管理費、利用状況を数値にまとめた「公共施設白書」を作成し、その資料を基に中長期の財政計画と連動すべきと考えるがどうか。

跡地等の売却や暫定的な賃し付け等による有効活用にも努め、施設の更新費用についても基金の活用など、財源の確保を図っている。また、財政フレームとの整合を図りつつ、提案の公共施設白書にまとめるべき事項も含めて中長期改修実施計画案をまとめていく。

その他の質問項目

大介護時代を生きるために

新たな発想の下での図書館改革の推進について

教育改革の推進について

各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録ができしだい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区議会ホームページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。

あわせてご利用ください。



傍聴を希望の方には、会議当日に区役所5階の議会事務局で傍聴券を交付します。定員は本会議80人、委員会15人です。

傍聴をご希望の方には、会議当日に区役所5階の議会事務局で傍聴券を交付します。定員は本会議80人、委員会15人です。

本会議、委員会は傍聴することができます。区議会を傍聴することは、区議会の活動を知る身近な方法です。

傍聴しませんか

本会議、委員会は傍聴することができます。区議会を傍聴することは、区議会の活動を知る身近な方法です。

傍聴をご希望の方には、会議当日に区役所5階の議会事務局で傍聴券を交付します。定員は本会議80人、委員会15人です。

各会議の開始予定日は区議会ホームページに掲載しています。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

内線 3614

